

## Press Release

2025年6月18日

株式会社ゼネテック

# 「FPGA AI デザインハッカソン」で mAP 項目トップ評価を獲得 FPGA×AI 実装力を実証、エッジ AI 活用の提案力強化を推進

株式会社ゼネテック(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:上野憲二、以下「当社」)は、2025年6月10日に福島県猪苗代町で開催された東京大学大学院工学系研究科主催「FPGA AI デザインハッカソン」に当社エンジニアが参加し、mAP(mean Average Precision:認識機能の正解率)項目でトップ評価を獲得いたしましたので、お知らせいたします。



## FPGA×AI 領域での知見獲得をめざしたハッカソン参加

本ハッカソンは、東京大学の「Agile-X~革新的半導体技術の民主化拠点」プロジェクトの一環として 開催される、FPGA 設計と AI を融合させた学生・技術者向けのイベントで、AI と半導体設計の接点を 体験し分野横断的な人材育成と技術交流を目的としています。

当社はこれまで、20 年以上にわたり組込み開発および FPGA 設計に取り組み、車載システムや産業 装置向けなどリアルタイム性・セキュリティ・信頼性などが重視される分野で技術を磨いてきました。 現在は、中期経営計画の長期ビジョン「社会的課題の解決への挑戦と実現」の取り組みの1つである

現在は、中期経営計画の長期ピション「在会的課題の解決への挑戦と美現」の取り組みのエフである「ソフトウェア開発×ハードウェア開発×AI」のもと、エッジ AI ソリューションの開発と FPGA×AI 領域の技術力強化を進めています。

本ハッカソンへの参加は、この取り組みの一環として AI 分野での挑戦と新たな知見の獲得を主な目的としております。



「FPGA AI デザインハッカソン」会場の様子



### 当社が評価されたポイント

本ハッカソンは物体検出モデル「YOLOv3」を FPGA ボード「KV260」に実装し、FPS(Frames per second: 1 秒間あたりの画像処理回数)×mAP の積による総合スコアを、会場でリアルタイム評価します。

当社は正確性を優先したアプローチにより、mAP スコアにおいて参加チームの平均値に対して倍以上のスコアを記録しました。実際の市場でも組込み製品に求められる mAP は最低でもスコア 85 (最高スコアは 100) 以上が基準となることが慣例で、今回の結果は事業活用可能な品質水準を大きく上回ったことを示しています。

また、ハッカソン会場では大学教授との意見交換の機会もあり、「mAP のスコア 90 以上を記録したことは素晴らしい成果」と高い評価を受け、今後の講演登壇の打診もいただくなど、技術力に対する外部評価も得られました。

## 当社エンジニアがハッカソン参加を通じて得た学び

「本ハッカソンでは、FPGA×AI という領域に初めて本格的に挑戦しました。mAP でトップの評価をいただけたことは、当社が業務で重視してきた強みを活かし、設計段階から「正しく動かすこと」にこだわった成果だと感じています。

一方で、学生主体のハッカソンならではのアイデアやスピード感にも多くの刺激を受けました。今回 の経験は、自身の技術視野を広げるとともに、新たな発想や柔軟なアプローチの重要性を改めて認識する貴重な機会となりました。

今後はこのようなイベントにも積極的に参加し、FPGA×AI 領域における技術力と提案力のさらなる 強化を目指していきます。また、社内の若手や中堅エンジニアのスキルアップ機会としても活用できる よう、知見の社内共有や参加体制の整備も進めていきたいと考えています。」

#### FPGA×AI 領域での今後の取り組み

今後は FPS や mAP といった性能指標などにより顧客に向けて導入効果や経済的利益といった要素を 具体的に可視化した提案スタイルを確立し、AI 市場における競争優位性の強化につなげてまいります。 こうした提案力の強化を支えるものとして、FPGA×AI 技術の開発体制の強化を図るとともに外部交流 活動、人材育成にも引き続き注力してまいります。

## **♦ ゼネテックについて**

社 名 : 株式会社ゼネテック 設 立 : 1985年7月1日

代表者: 代表取締役社長 上野 憲二

本社所在地: 〒163-1325 東京都新宿区西新宿 6-5-1 新宿アイランドタワー25F

事業内容 :

- ・ソフトウェアとハードウェアの融合によるシステムを提供するシステムソリューション事業
- ・3D-CAD/CAM システム「Mastercam」や 3D シミュレーションソフト「FlexSim」、製品ライフサイクル管理ソフト「Windchill®」を活用し、ものづくりの現場における効率化・生産性向上・全体最適化に貢献するエンジニアリングソリューション事業
- ・災害時位置情報共有アプリ『ココダヨ』をはじめ、位置情報を活用して安心・安全を提供する GPS 事業

URL : https://www.genetec.co.jp/

【報道関係お問い合わせ先】 株式会社ゼネテック マーケティング統括部 Email:PR@genetec.co.jp